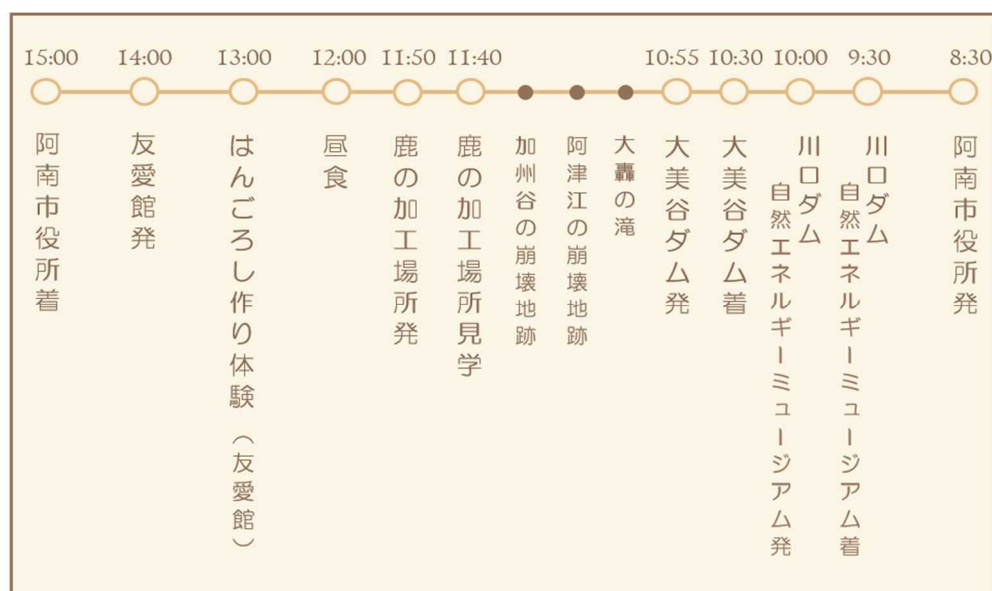


令和 8 年度 第 1 回なかがわ探検バスツアーを開催

令和 8 年 8 月 2 9 日（土）に、「ゆきかう那賀川推進会議」主催による『令和 8 年度 第 1 回 なかがわ探検バスツアー』を開催しました。

今回のバスツアーには、阿南市の小学生親子ら 10 名にご参加いただきました。

ツアーでは、まず川口ダム自然エネルギーミュージアムを訪れ、デジタルアートや実験装置で楽しみながら自然エネルギーについて学びました。その後、大美谷ダムに移動し、四国電力(株)の職員の方からダムの役割などの説明を受けたあと、今では珍しい吊り橋を渡りました。続いて、大轟の滝、阿津江の崩壊地跡、加州谷の崩壊地跡を見学し、さらに鹿の加工場所の見学も行いました。昼食後は、友愛館にて那賀町の郷土遺産料理である「はんごろし」づくりを体験し、体験終了後後に参加者全員で記念撮影を行い、帰路につきました。本ツアーを通じて、参加者の皆さまに那賀川流域の自然や地域資源について理解を深めていただくとともに、その魅力を体感していただく機会となりました。



川口ダム自然エネルギーミュージアムでは、イラストに色を塗って、ペーパークラフトを作成したり、デジタルアートや実験装置に触れながら、自然エネルギーについて楽しく理解を深めました。



【ペーパークラフト作成】



【デジタルアートを楽しむ】



【ペダル式発電体験】



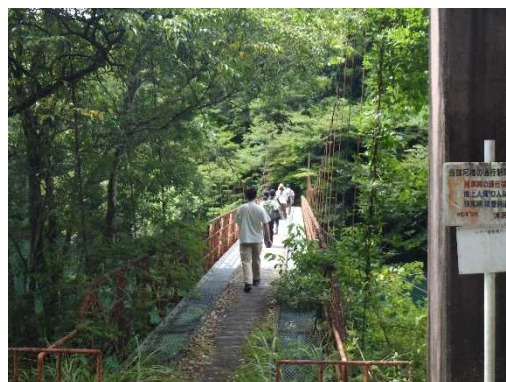
【風力発電体験】

大美谷ダムでは、四国電力（株）の職員の方から、ダムの規模や発電を目的とした施設であること、徳島県では珍しいアーチ式のダムであることなどについて説明を受けました。さらに、貯水池の水は透明度が非常に高いことも紹介され、参加者は大美谷ダムの役割や特徴について理解を深めました。

説明を受けた後は、上流へ、ダムの貯水池を見ながら歩き、今では珍しい人道橋の吊り橋へ移動し、実際に橋を渡りました。吊り橋は予想以上に揺れましたが、参加者は少し緊張した様子を見せながらも、景色を楽しみつつ渡っていました。



【大美谷ダムについての説明】



【吊り橋体験】

続いて、滝王国・旧木沢村を代表する名瀑である大轟の滝を見学しました。落差約 20 メートルの滝が三段にわたって豪快に流れ落ちる姿は迫力満点で、参加者はその雄大な景観を間近で眺めながら、那賀川流域の豊かな自然を満喫しました。

その後、阿津江崩壊地跡および加州谷崩壊地跡を訪れ、過去の災害の痕跡を見学しました。現地では、崩壊地の状況や地形の特徴について説明を受け、地域の自然環境や災害との関わりについて理解を深めました。

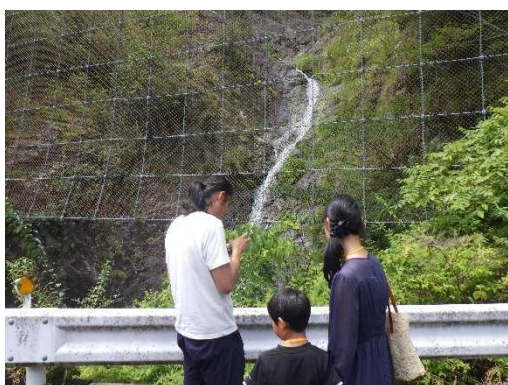
さらに、鹿シカの加工施設を見学しました。ゆきかう那賀川推進会議の平井滋委員から加工施設や鹿ことについて説明があり、捕獲されたシカが衛生的かつ適切に処理されていること、鹿対策が単なる駆除にとどまらず、鹿肉料理として、有効活用していることがわかりました。



【大轟の滝で記念撮影】



【阿津江の崩壊地跡見学】



【加州谷の崩壊地跡見学】



【鹿の加工施設場所の見学】

見学後は昼食をとり、体験活動を行う友愛館へ移動しました。

友愛館では、地域に伝わる地域に伝わる那賀町の文化庁「100年フード」に認定された郷土料理「はんごろし」地域に伝わる那賀町の郷土料理遺産「はんごろし」づくりを体験しました。参加者は、地域女性活動グループ「那賀川こまち」の連記かよ子氏から作り方を教わりながら、親子で協力し、地域の食文化に親しみ、和やかな雰囲気の中で楽しく調理体験を行いました。そして、自分たちで作った「はんごろし」をお土産として持ち帰りました。



【2組に分かれてはんごろしづく作り体験】

ツアーの最後には、那賀川のイメージキャラクター「りゅうな」と一緒に参加者全員で記念撮影を行いました。参加者の皆様は、夏休み最後の思い出として那賀川流域の自然や文化に触れた一日を振り返りながら、帰路につきました。



【友愛館の前で集合写真撮影】

ゆきかう那賀川推進会議では、今後もバスツアーをはじめとするいろいろな取組により、那賀川流域の上下流交流を深めていき、那賀川への関心を高めてもらうようにしていきたいと思っています。